



# 山ぼうし

- 友愛・協調・責任 -

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、正門脇の「山ぼうし小庭園」には

『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』

の碑(初代 PTA 会長の盛合聡氏揮毫)がある。花言葉:友情

## 校長メッセージ

7月5日～6日に行われた東北地区高校 PTA 連合会郡山大会に、本校 PTA を代表して寺崎 PTA 会長と北村総務主任の3名で参加してきました。



本大会は「こころ豊かなたくましい人づくり

～変化に対応し、未来を拓く力を～」をテーマとして、研究協議や講演会などが行われました。各県代表校の実践発表を拝聴し、生徒一人ひとりに「未来を拓く力」を育成するためには、保護者と教職員の連携が不可欠であるということ、改めて強く感じて帰ってきました。

### 歴史の扉③～先人の求めたる道を求めて～

#### 『初の高総体参加』 <昭和四十九年六月一日>

開校翌年の6月1日、第25回岩手県高校総合体育大会の開会式が盛岡の県営運動公園陸上競技場で行われた。快晴のこの日、全県下の若人が一堂に集まり熱烈な応援を続ける中で入場行進が始まると、生徒会長の保持する校旗、応援団長の掲げる応援団旗の後に四十余名の選手団が威風堂々行進の列に加わった。感激すべきこの一瞬をスタンドから見守る本校生徒席からも歓声と拍手の渦が湧き上がり、高総体初参加の喜びを味わったのである。

## 野球部・放送委員会壮行式

7月5日に、第100回全国高等学校野球選手権記念岩手県大会に出場する野球部と、第65回NHK杯全国高校放送コンテストに出場する放送委員会の壮行式を行いました。

### 【野球部代表挨拶】

夏の大会では、チームが一丸となり、今までやってきたことを全て出し切ってきます。応援よろしくをお願いします。

### 【放送委員会代表挨拶】

番組の内容は「震災から7年たって気がついた復興の意味」です。震災後に生まれた世代がまた被災しては「復興」とはいえないということを伝えるために全国大会に参ります。



<応援団長激励のエール>



<壇上の選手団>



<野球部代表挨拶>



<放送委員会代表挨拶>

## 電業協会寄贈式

7月3日に岩手県電気工事業工業組合・岩手県電業協会様より、電線ケーブルや配線器具等の実習用資材を寄贈していただきました。



生徒を代表して糠森玲音君(E2)

が、「この実習用資材を活用して、各種資格試験や『高校生ものづくりコンテスト』に向けて、全力で取り組んでいきます」と力強くお礼の言葉を述べました。

## 8月のおもな行事

4(土)同窓会総会「ホテル沢田屋」

13(月)～15(水)学校閉庁日

17(金)授業始め式・休み明け試験

23(木)頭髪服装検査

### <8月の月間生活目標>

『良い習慣の継続』

## 3 学年より 「企業見学」

就職に向け職業理解を深める目的で、6月28日に「企業見学」を実施しました。機械科はトヨタ自動車東日本岩手工場とアイメタルテクノロジー一北上工場を、電気電子科は四十四田発電所と区界発電所を建築設備科は宮古市民文化会館や宮古警察署など空調設備を中心に見学してきました。



これまで実習を中心に学校で学んできた専門分野が、実際の職業や日常生活において、どのように活用されているのかを深く学んだ1日となりました。この経験を進路選択に生かし、高い進路意識のもと今後の学校生活を送っていきましょう。

## 1 学年より 【性教育講演会】

6月28日に日本助産師会から宮澤ヒマ子先生を講師に迎え、性教育講演会が実施されました。心身の発育・発達などの、人間の性の成熟について理解し、適切な行動を選択することを学びました。



自分のことだけでなく、相手を思いやる気持ち、命の尊さを知り、命のあるものを大切にしながら、楽しい学校生活を過ごしましょう。

宮澤ヒマ子先生ありがとうございました。

## 2 学年より 【野球応援トロンボーン隊】

高校の夏といえば野球応援!!今年もこの季節がやってきました。さらに、今回の野球応援はいつもと一味違い、トロンボーン隊による演奏が加わりました。これにより高校野球らしさがグッと増し、それに呼応するように応援もたいへん盛りあがりました。演奏してくれたのは、機械科2年の大久保颯くんと、皆川麻衣さんです。2人は4月中旬ごろから放課後の時間を使い練習に励んでいました。試合は残念ながら敗れてしまいましたが、野球部の選手も応援していた生徒達もその瞬間に懸ける姿は輝いていました。気温も上がり暑い中、たいへんお疲れさまでした。



## 部活動紹介 【弓道部】

5月25～27日に盛岡市県営武道館弓道場で開かれた岩手県高校総体において**団体ベスト8**、**個人決勝進出**という結果になりました。

団体選手は M3 奥村祥樹・E2 山崎麟・E2 佐々木斐蒨・F2 堀合祐成・F2 山崎柊・E3 金澤佳吾・M2 伊藤優作でした。予選を24中/40射(6位)で通過し、準々決勝32中/60射(8位)、準決勝43中/80射で8位でした。

個人では M3 奥村・F2 山崎が予選8中/8射で通過し、準決勝F2 山崎が11中/12射で決勝に進みました。決勝(8名)では16中/20射で、16中同中が5名となり、上位大会を決める決定戦で惜しくも外し、東北大会出場を逃しました。

今後は10月の県選抜大会へ向けて日々精進していきます。

